

# うぶすな

～ふるさどを見る・知る・探す!～



うぶすなとは「生まれた土地（故郷）」という意味の言葉です。井上通泰と柳田國男が幼いころを過ごした鈴ノ森神社のヤマモモの木を詠んだ歌も、この言葉からはじまっています。

第10号

## 記念館・歴史民俗資料館・パンフレット&グッズ販売中!!

記念館・歴史民俗資料館では、各種企画展・特別展の詳細や解説を記した図録やパンフレットを作成し、販売しています。また、旅のお土産にも日用品にも使えるオリジナルグッズも取り揃えています。在庫には限りがございますので、お早めどうぞ!



**大好評!** 松岡五兄弟オリジナルトートバッグ（黒/紺）再入荷しました! 記念館にて500円で販売中です。



↑歴史民俗資料館図録  
左：おうち時間に郷土のあそびはいかがですか?  
右：歴史民俗資料館のお宝を集めた一冊です。



←左：映丘画稿展のパンフレットです。本年度も作成しました。

右：記念館所蔵の映丘本画「太平楽」をあしらった一筆箋です。

## 来館時の感染症対策にご協力ください

柳田國男・松岡家記念館および神崎郡歴史民俗資料館では、感染症対策として、来館者の皆さまに

- ①マスクの着用
- ②手指の消毒
- ③おしゃべりの自粛
- ④代表者ご連絡先の記入

をお願いしています。

皆さまのご協力をどうぞよろしくお願いいたします。



(兵庫県指定重要有形文化財) 旧神崎郡役所  
福崎町立  
**神崎郡歴史民俗資料館**  
Kanzaki County Museum of History and Folklore established by Fukusaki Town



## 令和2年度の催し報告

### 春季企画展

### 神崎郡の古墳

6月2日(火) から7月19日(日)まで「神崎郡の古墳」展を開催しました。令和2年3月に福崎町東田原所在の妙徳山古墳が県指定史跡になりました。現存する神崎郡内の古墳のなかで、最大級の古墳です。本展では、旧神崎郡内に所在する古墳を紹介しながら、改めて身近にある古墳について知っていただく機会となりました。



妙徳山古墳内部。パネルで紹介しました。  
←左：収蔵室で出番を待つ東広畑古墳出土の銀象嵌装太刀の柄頭。  
←右：東広畑古墳出土の須恵器は、発見された際の写真と共に紹介しました。



### 秋季企画展

### 戦後75年福崎と戦争の歴史をつむぐ

令和2年は、戦後75年の節目の年にあたります。時を経るにつれ、戦争を経験した世代から戦争を経験していない世代へと戦争を語りついでいくことが緊要となりつつあります。

平和の尊さと「戦争」という歴史を風化させることなく後世に伝えるために、今一度、実際の資料にふれながら“知る”きっかけとなることを願い、8月1日(土)から11月29日(日)まで、町内に残存する戦争の資料として、戦時中に使用されていた日用品や戦地へ赴く人たちが所持していた貴重な資料、また戦後70年の特別展以降に新たに見つかった資料を加えて展示し、紹介しました。



↑展示風景。新規資料の多い展示となりました。展示にご協力いただきました皆さま、ありがとうございました。

## 令和元年度埋蔵文化財発掘調査速報展

福崎町には、旧石器時代から近代まで、さまざまな時代の埋蔵文化財が地下に眠っており、教育委員会では開発に伴い、発掘調査等を実施しています。1月16日(土)から3月14日(日)に開催した本展では、出土した土器やパネルを用い、令和元年度に実施した調査について紹介し、出土した土器から遺跡を身近に感じていただくため、福崎町内の埋蔵文化財の最新状況をお伝えしました。





福崎町立

# 柳田國男・松岡家記念館 / 柳田國男生家

Kunio Yanagita and the Matsuoka Family Memorial Museum established by Fukusaki Town

(兵庫県指定文化財)



## 令和2年度の催し報告

### 松岡映丘画稿展

春季 (6/2 ~ 7/26)

春季画稿展では、「映丘が描く女性の美」と題し、前年度に補修を終えた作品等の中から、女性を主題とした作品を紹介しました。

古典に登場する姫君の絵画を多く手掛けた映丘ですが、記念館の収蔵作品には実際にモデルの女性をスケッチしたものと考えられる素描も残されています。

映丘のやまと絵の特徴である写実性を培った繊細な人間描写が堪能できる作品を展示しました。

秋季 (10/3 ~ 11/29)

秋季画稿展では、「映丘が描いた歴史画」と題し、松岡映丘がやまと絵で描いた作品から、「村上義光」「佐々木高綱」といった歴史上の人物や歴史物語を題材とした作品を紹介しました。

映丘は作品の背景となる時代の風俗を自ら研究し、考証に基づいた制作を行ったことで知られています。本展では、歴史画に込められた物語に着目し、『源平盛衰記』や『太平記』などの軍記物語や、『御伽草紙』『古今著聞集』など説話集を題材とした作品を展示しました。



「少女」



「庭の池」



「土肥の杉山」



「村上義光」

### 記念展にご協力ください

記念館では、2021年に生誕140年を迎える松岡映丘の顕彰のため松岡映丘の遺物やエピソードの収集を行っています。

福崎町へ来訪した際のエピソードや写真、映丘の遺した作品や書簡、その他記録など、情報がありましたら記念館までお寄せください。



### 日本民俗学会研究奨励賞

福崎町では、日本民俗学会の研究奨励賞に副賞を贈っています。

この賞は35歳未満の次世代の民俗学を担う若手研究者へ授与されるものです。本年度は、神奈川大学日本常民文化研究所特別研究員の市東真一さん(左)の「祭礼における旦那衆の権威の創造—埼玉県熊谷市熊谷うちわ祭を事例に—」が受賞されました。表彰式は10月11日(日)に行われ、高橋教育長が授与しました。



↑本年度は東京都千代田区で開催されました。

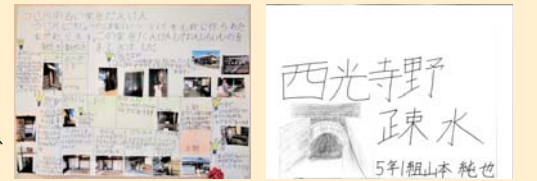
### 第8回ふるさと賞

福崎町柳田國男ふるさと賞は、福崎町内の小中学生が地域の歴史や文化を調べた作品の中から選ばれます。

本年度の福崎町柳田國男ふるさと賞は、以下の2名が受賞しました。

- 小学校低学年の部 田原小学校2年 川上莉央さん
- 小学校高学年の部 田原小学校5年 山本純也さん

優秀作品7点は、11月29日(日)まで「子どもふるさと賞コーナー」で展示しました。夏休みが短いなか、力が集まりました。皆様のご応募ありがとうございました。



↑受賞作品は記念館ホームページで公開しています。

### 伊勢大神楽公演

今年も11月14日(土)に、国指定重要無形文化財の伊勢大神楽が福崎へやってきました。変則的な日程となりましたが、多くのお客様にお越しいただきました。



### 岩田先生の版画教室

12月6日(日)に版画教室を行いました。版画家の岩田健三郎さんに、年賀状作りをご指導いただきました。



うぶすな 第10号  
令和3年3月15日発行

福崎町立柳田國男・松岡家記念館

〒679-2204

兵庫県神崎郡福崎町西田原

TEL 0790-22-1000

1038・12

◆開館 午前9時～午後4時30分

(入館は午後4時まで)

◆休館日 月曜日(祝日は開館)

祝日の翌日(土・日は開館)

12月28日～1月4日

令和3年度の催し

記念館の催し

★令和3年度 春季松岡映丘画稿展

★第42回山桃忌

★第8回柳田國男検定

初級編 / 中級編 / 上級編

★令和3年度 秋季松岡映丘画稿展

★第9回福崎町柳田國男ふるさと賞

★伊勢大神楽

★岩田健三郎さんの版画教室

歴民の催し

★令和3年度 第一回企画展

★令和3年度 連続講座

★令和3年度 特別展